

令和6年度 学校図書館全体計画

学校教育目標

・学習指導要領・学校図書館法
・指導室重点事業
・子ども読書活動推進計画
・江戸川区立小中学校読書科指導指針等

・確かな学力
・豊かな心
・健やかな体
・安全・安心の保障
・多様性の尊重(ダイバーシティ)

児童の実態
朝読書や図書の時間を中心に多くの児童が本に親しんでいるが、調べ学習等で学校図書館を利用する機会は少ない。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、読書意欲を高め、読書の習慣化を図る。
自らの課題や疑問を追究解決していく子供を育て、生涯学習の基礎を培う。

ねらい

- ①児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ②学び方指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
- ③多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ①読書活動をもっと盛んにする。
- ②学校図書館を活用した授業を展開する。
- ③学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ④小中必読書百選の取組を行い、良書との出会いの場を増やす。

各学年の重点目標

第1学年

- ・読み物を楽しんで読もうとする。
- ・図書館に親しんで利用できる。

第2学年

- ・読み物をすすんで読もうとする。
- ・図書の扱い方や借り方等が正しく利用できる。

第3学年

- ・様々な種類の本を読もうとする。
- ・すすんで図書館を利用して調べようとする。

第4学年

- ・読書の幅を広げ、すすんで読み、読書量を増やす。
- ・調べ学習に意欲的に取り組む。

第5学年

- ・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。
- ・目的に応じて図書館を適切に利用する。

第6学年

- ・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。
- ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取組

各教科について

- 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
- 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
- 読書指導を行い、読書の習慣や、態度を養う。

読書科について

- 小中必読書百選を中心に良書に触れる。
- 「高学年から低中学年への読み聞かせ」による読書推進。
- 「新着図書の紹介(図書委員会)」等による読書推進。
- 「教員による読み聞かせ(ブックシャッフ)や、保護者による読み聞かせ」による意欲向上。

総合的な学習の時間について

- 問題解決、探究的課題に主体的に取り組む。
- 体験に基づく問題解決的な活動をもとに、図書資料を通して調べ、活動内容を整理したり、吟味したりしながら多様な知識を獲得する。

特別活動について

- 図書委員会を中心に、自主的・自発的に学校図書館を運営する。
- 図書委員が校内で読み聞かせを実施し、読書活動推進を図る。
- 学校図書館を利用する時の基礎的な知識技能を養う。

特別の教科 道徳について

- 図書資料を通して、多様な生き方や考え方に接する中で、自分の心を揺さぶり、考えを深めることにより、道徳的心情を養う。

家庭・地域との連携について

- 夏休み中、学校図書館の開館のお知らせを家庭にも行い、親子による読書の推進。PTA ボランティア、公立図書館との連携。

朝読書の充実

推進組織の確立・充実

図書館経営評価の実施

図書環境の整備・充実